MUTOH

証券コード 7999

# 第66期 報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

MUTOHホールディングス株式会社

## ■株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第66期報告書をお届けし、当期の業績および当社グループにおける取り組みにつきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長　**早川信正**

**基本方針**

**常に革新し**
**挑戦を続け**
**社会に貢献する**

## ■事業の経過および成果のご説明

当連結会計年度における経営環境は、欧米地域においては緩やかな景気回復を持続し、中国などアジア新興諸国においては成長率の減速傾向はあるものの依然として景気拡大基調を維持してまいりました。一方、東欧や中東地域の政情不安による地政学リスクの長期化や国内の個人消費の低迷や原料コストの上昇などを要因として、景気後退が懸念されております。

このような状況の中、主力の大判インクジェットプリンタ事業では、内外のグラフィック・サイン関係の数々の展示会でMUTOHの大判インクジェットプリンタが常に高い評価を得る中、全米最大規模を誇るSGIA Expoにおいて『ValueJet（バリュージェット）』シリーズが3年連続で、“PRODUCT OF THE YEAR”の栄誉をいただきました。一方、新機種の一部で製品の安定性確保の観点から出荷を当初予定から数ヶ月遅らせることとなりましたが、新たに4機種の製品を投入し製品ラインアップの強化を図り拡販に努めてまいりました。

3Dプリンタ事業では、パーソナル3Dプリンタの価格競争の激しさが増しているものの、ブランド力と製品ラインアップの強化を目指して製品開発に注力し、今後の事業拡大への先行投資を推進してまいりました。熱溶融積層（FDM）方式のパーソナル3Dプリンタ『Value3D MagiX』では、年度前半にはダブルヘッドを搭載した『MF-2000』を、年度後半には自社開発ヘッドを搭載したエントリーモデル『MF-500』の発売を開始いたしました。さらに、プロダクションモデルの製品展開も積極的に行い、年度後半には産学共同開発によるアーク溶接方式を採用した金属3Dプリンタの試作モデルを発表いたしました。この金属3Dプリンタは他に例のないアーク溶接方式を採用することにより、低価格・低ランニングコスト・ハイスピードを実現したことで、大きな反響を得ています。また、3Dプリンタ事業のさらなる拡大のため、3Dプリントサービスのトータルソリューションとなる着せ替え3Dフィギュアプリントサービス『Value 3D Figure World（バリュー3Dフィギュアワールド）』をスタートさせ、チェーン展開ならびに各種イベントにおける出店活動を開始いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、為替の円安など事業環境の改善はあるものの、一部製品の出荷遅延や先行投資拡大の影響から、売上高は234億75百万円（前期比1.6％増）となり、営業利益は13億6百万円（前期比19.9％減）、経常利益は13億54百万円（前期比32.8％減）となりました。また、厚生年金基金代行部分（過去分）返上による代行返上益27億51百万円を特別利益に計上したことに伴い、当期純利益は26億84百万円（前期比11.8％増）となりました。

なお、当期末の配当金は、株主の皆様の日頃のご支援にお応えすべく、前期に比べ2円増配し、1株当たり7円とさせていただきます。

皆様には、今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 連結決算ハイライト

## ○連結売上高

第66期 **23,475** 百万円

| 第63期 | 第64期 | 第65期 |
|---|---|---|
| 20,441百万円 | 17,982百万円 | 23,115百万円 |

## ○連結営業利益

第66期 **1,306** 百万円

| 第63期 | 第64期 | 第65期 |
|---|---|---|
| 653百万円 | 140百万円 | 1,630百万円 |

## ○連結経常利益

第66期 **1,354** 百万円

| 第63期 | 第64期 | 第65期 |
|---|---|---|
| 1,306百万円 | 715百万円 | 2,014百万円 |

## ○連結当期純損益

第66期 **2,684** 百万円

| 第63期 | 第64期 | 第65期 |
|---|---|---|
| △425百万円 | 261百万円 | 2,399百万円 |

## ○連結総資産額

第66期 **32,027** 百万円

| 第63期 | 第64期 | 第65期 |
|---|---|---|
| 27,028百万円 | 27,363百万円 | 32,953百万円 |

## ○連結純資産額

第66期 **25,061** 百万円

| 第63期 | 第64期 | 第65期 |
|---|---|---|
| 18,601百万円 | 19,170百万円 | 21,446百万円 |

## 当期事業別セグメント

**売上高**（百万円）

## 次期の業績予想

単位：百万円

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 |
|---|---|---|---|---|
| 連結業績予想 | 26,000 | 1,300 | 1,350 | 850 |

（平成27年5月15日公表値）

世界経済は総じて穏やかな回復傾向を示しながらも、欧州地域でのデフレ懸念と新興諸国の経済成長率の鈍化による景気減速懸念は未だ残り、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおいては、大判インクジェットプリンタ・3Dプリンタともに積極的に新製品を市場に投入することで製品のラインアップを充実させ売上高の拡大を図ります。損益については、継続的にコスト削減を行うものの、材料価格の上昇などによる製造原価の増加が想定されますが、将来の持続的発展を見据え、引き続き積極的な開発投資を行ってまいります。

# 事業セグメントの概況

## 情報画像関連機器事業

売上高
**19,202**百万円

アジア地域においては、中国等新興諸国への販売は好調に推移したものの、一部製品の出荷遅延や開発投資増加等の影響から、売上高は84億20百万円（前期比5.1％減）、セグメント利益は5億11百万円（前期比48.5％減）となりました。

北アメリカ地域においては、積極的な販売活動の展開に加え、アメリカ経済の回復、為替の円安効果により、売上高は37億67百万円（前期比13.0％増）となり、セグメント利益は3億48百万円（前期比98.8％増）となりました。

ヨーロッパ地域においては、好調な販売と為替の円安を背景に増収となりましたが、価格競争激化の影響も受け、売上高は70億14百万円（前期比5.4％増）、セグメント利益は4億12百万円（前期比2.5％減）となりました。

## 情報サービス事業

売上高
**2,282**百万円

情報サービス事業においては、既存事業では継続的な販売強化に努めたことにより、CAD事業・システムソリューションサービス事業ともに増収増益となりましたが、将来的な視点による3Dソリューションの事業化初年度立ち上げ費用などの影響もあり、売上高は22億82百万円（前期比5.9％増）、セグメント利益は1億14百万円（前期比48.6％減）となりました。

## 不動産賃貸事業ならびにその他の事業

売上高
**1,990**百万円

不動産賃貸事業においては、稼働率は向上していますが、一部物件の自社利用への移行に伴い、売上高は2億50百万円（前期比29.5％減）となり、セグメント利益は1億86百万円（前期比21.7％減）となりました。

その他の事業においては、国内消費低迷の影響を強く受けたものの、既存・新規事業等の積極的な販売活動と経費削減に努めたことから、売上高は17億39百万円（前期比0.2％減）、セグメント利益は3百万円（前期は1億1百万円の損失）となりました。

## アメリカ ISA show: International Sign Expo 2015 “Best New Product”と “Top Product”を受賞

米国ラスベガスで4月9日～11日に開催されたISA(International Sign Association)主催の展示会において、MUTOHは二つの栄誉ある賞を受賞しました。

**“Best New Product”**

出展したすべての新製品のなかから1機種だけ選ばれるのが、“Best New Product”です。今回その栄誉ある賞に、MUTOHの『VJ-426UF』が選ばれました。
『VJ-426UF』は、UVインク対応のデスクトップサイズのインクジェットプリンタです。厚さ70mmまでの様々なメディアにプリントでき、小型・長寿命を両立したLED-UVランプを採用し、ビジネスの新領域を拓きます。

**“Top Product”**

WFI(Wide Format Imaging)読者の投票で決まる“Top Product”としてMUTOHからは、ハイブリッド／UVプリンタ(24インチ以上)部門で『VJ-1626UH』、ソルベントプリンタ部門で『VJ-1638X』がそれぞれ選ばれました。

“Best New Product”受賞の
『VJ-426UF』とムトーアメリカ社副社長

## 統合型生産管理パッケージ *ProductionMaster* ™

*ProductionMaster*™は、最新のWeb技術により開発され、受注から出荷まで工場の生産関連業務全般をカバーして、“解りやすく”、“使いやすく”、“短期間の導入”でご利用いただける統合型生産管理パッケージです。

◆ステップバイステップで、生産管理としての完成度を高めていくことが可能
◆PDCA管理サイクルがキチンとできて、迅速な対応や生産性の向上に直結
◆現場の状況や異常がわかる仕組みを確立
◆KIP指標や月次統計資料を、グラフで見たり、ダウンロードして解析が可能
◆マルチ言語対応、保税部品対応等により、海外の工場にも強い
◆Webシステムのため、異なる拠点間でもインターネット経由で接続可能
◆使いやすさへのこだわり機能が充実(独自項目設定、自社の呼び方対応、他)

## 屋内用内照看板 超高輝度ライトパネル

超高輝度ライトパネルは、表面照度が6,000ルクスの明るさで、専用メディアフィルムが不要な屋内用内照看板です。
普通のコート紙で美しく鮮やかに光ります。

◆均一に光る面発光パネル
　独自の導光板技術で光の均一性と薄型を実現
◆ポスターの交換・更新が容易
　前面フレーム四辺を開けてラクラク交換
◆LEDで省エネ、超寿命、地球環境にもやさしく、経済的
◆薄くて、軽いので、置いても良し、吊るしても良し
◆各種サイズに対応(※サイズにより光学特性は異なります。)
　A1、B1サイズの他、ご要望に合わせて各種サイズに対応

サイン・メニュースタンドで店舗導入

作品、研究発表、説明パネル、ショールームの演出に

展示会で存在をアピール
明るい展示ブースづくりに

# ガーメントプリンタ 4色機『VJ-404GT』と5色機『VJ-405GT』を発売

コットン素材のTシャツやジーンズ、トートバッグなどの布地へダイレクトプリントできるガーメントプリンタとして、4色機『VJ-404GT』と5色機『VJ-405GT』を6月下旬から販売開始。
製版不要のため単発のオリジナル品にも即対応でき、多色やグラデーションも簡単に表現できます。

ガーメントプリンタ
『VJ-404GT』／『VJ-405GT』

主な特長は以下の通りです。

- ◆ 4色（CMYK）機『VJ-404GT』は、淡色・白色メディアに対応
- ◆ 5色（CMYKW）機『VJ-405GT』は、淡色・白色・濃色メディアに対応
- ◆ 最大プリント領域　400×585mmを確保
- ◆ 使い勝手を考慮したWindows用プリンタドライバおよびレイアウトアプリを標準付属
- ◆ 使いやすい7インチLCDタッチパネル
- ◆ 治具のカスタマイズが容易な設計で、様々なアプリケーション（用途）に対応
- ◆ L、M、Sの3種類の脱着式プラテンを用意（Mサイズ　標準添付）

## シンプルなレイアウトアプリで使いやすさにこだわり！

**画像の選択**

【対応形式】
.jpg
.gif
.png
.tiff
.bmp　等

**ナビゲーション画面**

・プラテンのサイズ選択
・作画設定など

**印刷モードの選択**

・カラー印刷
・ホワイト＋カラー印刷
・ホワイト印刷

# プロダクションタイプ
# 『アーク溶接金属3Dプリンタ』を発表

MUTOHは東京農工大学との共同研究成果に基づき、アーク溶接方式を採用した新型金属3Dプリンタを開発し、1月に発表いたしました。2015年度に発売予定です。
従来の金属3Dプリンタに比べて、低価格・低コストを実現しています。

**高速・高強度・低コストを実現！**

- ◆ アーク溶接方式だから高出力・高速造形が可能
- ◆ 強度は通常のアーク溶接に準じ、バルク材並み
- ◆ 市販の溶接ワイヤを造形材料として使用
  - ⇒低コスト
  - ⇒豊富な物性データ
  - ⇒取り扱い、管理が容易
- ◆ 難削材、高価材料を「ニアネットシェイプ」
  - ⇒最終形状に近い形まで造形して、時間・材料を低減
- ◆ 既存部品に「付加造形」が可能
  - ⇒既存部品に造形物を付加して、時間・コストを低減

『アーク溶接金属3Dプリンタ』

造形物サンプル

アーク溶接造形加工例

# 連結財務諸表

## ■連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目 ＼ 期別 | 当期 平成27年3月31日現在 | 前期 平成26年3月31日現在 |
|---|---|---|
| **資産の部** | | |
| **流動資産** | **20,563** | **20,350** |
| 現金及び預金 | 8,597 | 9,730 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,295 | 4,832 |
| たな卸資産 | 5,533 | 4,225 |
| その他 | 2,137 | 1,562 |
| **固定資産** | **11,463** | **12,603** |
| **有形固定資産** | **8,395** | **8,499** |
| **無形固定資産** | **197** | **173** |
| **投資その他の資産** | **2,870** | **3,930** |
| 投資有価証券 | 2,328 | 1,997 |
| その他 | 541 | 1,933 |
| **資産合計** | **32,027** | **32,953** |

(単位：百万円)

| 科目 ＼ 期別 | 当期 平成27年3月31日現在 | 前期 平成26年3月31日現在 |
|---|---|---|
| **負債の部** | | |
| **流動負債** | **5,179** | **5,949** |
| 支払手形及び買掛金 | 3,036 | 3,512 |
| その他 | 2,142 | 2,436 |
| **固定負債** | **1,787** | **5,557** |
| 退職給付に係る負債 | 1,277 | 5,049 |
| その他 | 509 | 507 |
| **負債合計** | **6,966** | **11,506** |
| **純資産の部** | | |
| **株主資本** | **25,206** | **22,731** |
| 資本金 | 10,199 | 10,199 |
| 資本剰余金 | 4,182 | 4,181 |
| 利益剰余金 | 13,165 | 10,684 |
| 自己株式 | △ 2,340 | △ 2,334 |
| **その他の包括利益累計額** | **△ 1,036** | **△ 2,011** |
| **少数株主持分** | **890** | **727** |
| **純資産合計** | **25,061** | **21,446** |
| **負債・純資産合計** | **32,027** | **32,953** |

## ■連結株主資本等変動計算書

当期（自 平成26年4月1日　至 平成27年3月31日）

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | 少数株主持分 | 純資産合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | | | |
| **平成26年4月1日残高** | **10,199** | **4,181** | **10,684** | **△ 2,334** | **22,731** | **△ 2,011** | **727** | **21,446** |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | 26 | | 26 | | 6 | 33 |
| **会計方針の変更を反映した当期首残高** | **10,199** | **4,181** | **10,711** | **△ 2,334** | **22,757** | **△ 2,011** | **734** | **21,479** |
| **連結会計年度中の変動額** | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △ 229 | | △ 229 | | | △ 229 |
| 当期純利益 | | | 2,684 | | 2,684 | | | 2,684 |
| 自己株式の取得 | | | | △ 7 | △ 7 | | | △ 7 |
| 自己株式の処分 | | 0 | | 0 | 1 | | | 1 |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額） | | | | | | 975 | 156 | 1,132 |
| **連結会計年度中の変動額合計** | **－** | **0** | **2,454** | **△ 6** | **2,448** | **975** | **156** | **3,581** |
| **平成27年3月31日残高** | **10,199** | **4,182** | **13,165** | **△ 2,340** | **25,206** | **△ 1,036** | **890** | **25,061** |

## ■連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科目 ＼ 期別 | 当期<br>自 平成26年 4 月 1 日<br>至 平成27年 3 月31日 | 前期<br>自 平成25年 4 月 1 日<br>至 平成26年 3 月31日 |
|---|---|---|
| 売上高 | 23,475 | 23,115 |
| 営業利益 | 1,306 | 1,630 |
| 経常利益 | 1,354 | 2,014 |
| 税金等調整前当期純利益 | 4,119 | 2,100 |
| 当期純利益 | 2,684 | 2,399 |

## ■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科目 ＼ 期別 | 当期<br>自 平成26年 4 月 1 日<br>至 平成27年 3 月31日 | 前期<br>自 平成25年 4 月 1 日<br>至 平成26年 3 月31日 |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △ 487 | 2,034 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 477 | 204 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 120 | △ 155 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △ 1,133 | 2,563 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,730 | 7,166 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 8,597 | 9,730 |

## ■事業セグメントにおける連結会社

| 事業区分 | 会社名 |
|---|---|
| 情報画像関連機器事業 | 武藤工業㈱・ムトーベルギー社・ムトーノースヨーロッパ社・ムトードイツ社・ムトーアメリカ社・武藤工業香港有限公司・ムトーシンガポール社・ムトーオーストラリア社・㈱ムトーエンジニアリング |
| 情報サービス事業 | ムトーアイテックス㈱・㈱ムトーエンジニアリング・㈱ムトーフィギュアワールド |
| 不動産賃貸事業 | MUTOHホールディングス㈱・㈱ムトーエンジニアリング・㈱ムトーエンタープライズ |
| その他の事業 | ㈱ムトーエンジニアリング<br>㈱ムトーエンタープライズ |

### 売上高の推移 (単位：百万円)

### 営業利益の推移 (単位：百万円)

### 経常利益の推移 (単位：百万円)

### 当期純利益の推移 (単位：百万円)

# 会社の概要（平成27年6月26日現在）

| | |
|---|---|
| 商　　号 | MUTOHホールディングス株式会社<br>（英文社名　MUTOH HOLDINGS CO., LTD.） |
| 設　　立 | 1952年（昭和27年）3月5日<br>（創業：1942年（昭和17年）12月） |
| 資 本 金 | 101億99百万円 |
| 本社事務所 | 東京都世田谷区池尻三丁目1番3号<br>TEL：03-6758-7100（代） |
| 主な事業内容 | グループ会社の経営管理および資産管理 |
| ホームページ | http://www.mutoh-hd.co.jp |

## MUTOHグループ会社

- MUTOH Belgium nv
- MUTOH Deutschland GmbH
- MUTOH North Europe S.A.

- MUTOH HONG KONG LIMITED
- MUTOH SINGAPORE PTE.LTD.
- MUTOH AUSTRALIA PTY.LTD.

- 武藤工業株式会社
- 株式会社ムトーエンジニアリング
- 株式会社ムトーエンタープライズ
- ムトーアイテックス株式会社
- 株式会社ムトーフィギュアワールド

- MUTOH AMERICA INC.

## ■ 役員（平成27年6月26日現在）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 取締役会長 | 髙山允伯 | 取締役 | 竹田晶信 |
| 代表取締役社長 | 早川信正 | 取締役 | 坂本俊弘 |
| 常務取締役 | 阿部要一 | 取締役 | 髙山芳之 |
| 常務取締役 | 青木久佳 | 取締役 | 馬場芳彦 |
| 取締役監査等委員 | 立沢肇 | | |
| 取締役監査等委員 | 鴨居和之 | | |
| 取締役監査等委員 | 飛田博 | | |

# 株式の状況（平成27年3月31日現在）

■ 発行可能株式総数　170,000,000株

■ 発行済株式総数　54,818,180株

■ 1単元の株式数　1,000株

■ 株主数　7,005名

## ■ 大株主の状況

| 株主名 | 所有株式数(株) | 持株比率(%) |
|---|---|---|
| TCSホールディングス株式会社 | 13,220,000 | 28.81 |
| 株式会社みずほ銀行 | 2,071,399 | 4.51 |
| 武藤栄次 | 1,580,586 | 3.44 |
| 三井住友信託銀行株式会社 | 1,457,000 | 3.17 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 1,196,000 | 2.61 |
| ユニシステム株式会社 | 923,000 | 2.01 |
| エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社 | 712,000 | 1.55 |
| 堀啓一 | 591,000 | 1.29 |
| ハイテクシステム株式会社 | 541,000 | 1.18 |
| 武藤郁子 | 388,603 | 0.85 |

(注) 1. 当社は自己株式8,924,319株を保有しておりますが、上記「大株主」からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ◆所有者別分布状況

## ◆所有株式数別分布状況

## 株主メモ

| | |
|---|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 毎年3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 毎年9月30日 |
| 公告方法 | 電子公告により当社ホームページに掲載<br>http://www.mutoh-hd.co.jp<br>※やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合には、「日本経済新聞」に公告いたします。 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063<br>東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 |
| （電話照会先） | 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）<br>取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。 |

## ご注意

**1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について**

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

**2. 未払配当金の支払いについて**

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

**3.「配当金計算書」について**

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。
確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。
確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

この冊子は、環境にやさしい「FSC認証紙」「植物油インキ」を使用し、印刷工程で有機溶剤等を使わない「水なし印刷」を採用して印刷し、針金を使わずに製本しています。

PRO-WE PROJECT- With the Earth
この冊子の印刷・製本に係るCO₂はPROJECT- With the Earth を通じてオフセット(相殺)しています。

Waterless Printing. Naturally.

VEGETABLE OIL INK

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。